

拝啓 今年も早や7月末となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。近所の公園では、これからは百日紅の花が咲きます。公園の運動場の側に、テーブルとベンチがあり、散歩をして、よくそこでコーヒーを飲んで休みますが、夏の暑い日でも、日陰ができて風のある時は、本当に気持ちよく感じます。

今回は、小西芳之助先生の『コリント人への第一の手紙講解説教』からの引用の2回目ですが、今回のエンカウターの11 ページ、「パウロの使命、君たちの使命」という項には、次のように書かれています。

「私の使命は、パウロにならって、この場所で、福音を宣べ伝えるという事です。その他のことは、私にとっては副になる。これは、伝道師パウロの事であるけれど、諸君にも当てはまります。諸君にも現在の使命がある。学生は勉強すること。主婦は家庭を守ることが使命です。その第1使命を完全に尽くすことが人間として本当に必要なことであります。自分の使命を果たしたらよい。私は福音を伝道したらよい。私の使命は、聖日にここで福音を宣べ伝えるということです。他の会合に出るということは私の使命ではない。…諸君、先ず、人生における君らの第1の義務をやりたまえ。偉い人になるとか、偉い教養の高い人になるとか、そんなものは第2です。第1にやるべきことをやってから他のことをやり給え。パウロはそういうことを言っています。…パウロは、私は福音を宣べ伝えると言っています。私は、これは万事に当てはまると思います。」

ただ今、私は、小西先生のことと南原先生のことを、後世の人たちに伝えることが私の使命、という気持ちで毎日過ごしています。

この一月に読んだ『一日一生』等の本から、感銘を受けた言葉を紹介します。

#### **小西芳之助先生『主の御名を呼ぶ』7月20日**

「源信、源空（法然）、親鸞

源信は、救いとは何かを教えた。

現空（法然）は、救いに至る道を教えた。

親鸞は、救いに至る道を自分のものにする方法を教えた。

この3人なくして、私は、日本人として、聖書に示す救いを受けることはできなかつたであろう。」

#### **新渡戸稲造先生「一日一言」7月1日**

「今年もはや半ばすぎたれども、前半戦の歴史は敗軍の記事なれば、後半歳には見事取り返すべし。これより速攻を旨とすべし。善なり、義なりと認めたらただちにその方針に進むべし。貯蓄が必要と認めたら、即日一銭の預金せよ。学問が大切と思うたら、即日1 ページ読書せよ。」

#### **松下幸之助先生『道を開く』『岐路に立ちつつ』**

「お互いに、一切何の不安もなく、危険もなければ心配もなく、従って苦心する必要もなければ努力する必要もない、そんな境遇にあこがれることがしばしばある。しかし果たし

てその境遇から力強い生きがい生まれるだろうか。

やはり次々と困難に直面し、右すべきか、左すべきかの不安な岐路に立ちつつも不安な岐路に立ちつつも、あらゆる力を傾け、生命をかけてそれを切り抜けてゆく——そこにこそ人間として一番充実した張りのある生活があるともいえよう。

困難に心が弱くなった時、こういうこともまた考えたい。」

#### 内村鑑三先生「統一日一生」7月21日

「もしわれらの教会ありとせんか、これわれらの家庭なり。我らの書齋なり。我らの事務所なり。我らの田園なり。我らの工場なり。我らの店舗なり。我らはここに神に仕え、彼を賛美し、彼の栄光をあらわさんと欲す。われらに特別に神聖なる所あるなし。我らが坐する所、立つ所、全て神聖なり。神はそこに、我らに現れて言い給う、「汝が立つところは聖き地なり」と。われらはその時、モーセと等しく、そこにわれらの靴を脱ぎ、そこにわれらの神を拝して、その貴き黙示に接するなり」

#### パークレー先生『一日一章』7月20日

「最後の呼び出し（死）がいつ来るか、朝か、昼か、夜か、その日その時を知るものはいない。だから、賢明な人だったら、人生をきちんと整理し、神との平和を確立して、自分の名前が呼ばれた時には平静に答えられるよう、準備しておくであろう。

結婚式と葬式、その間の平凡な年月——これが人生である。それが生のリズムである。だからこそ人間は、自分が地上の住人ではなく、永遠の巡礼であることをよく覚えておく必要があるのである。」

#### カウマン先生『山頂を目指して』7月20日

「私の知っているある人は自分の工場のベンチを祭壇にした。…

私たちのうちにいるマルタは台所の食卓を聖餐の台にした。

ある郵便集配人は自分の日ごとの集配を神の宮における歩みとした。

このようなすべての人にとり、日々の出来事は神のくちびるからのささやきになる。

一つ一つの仕事が 神の声に耳を傾ける場であり、一つ一つの環境が路傍の神殿である。」

7月16日、本誌読者の佐藤昭夫さんと一緒に、奥秩父の国師岳（2593m）に登山してきました。林道を通って車で大弛峠（2360m）まで行き、1時間少しの登山で頂上でした。久しぶりの登山で、愉快でした。

いよいよオリンピックが始まりました。コロナのために、色々なことがありました。世界のトップクラスの選手の研鑽に答え、閉会式まで無事進行するように祈ります。

マスク、手洗い、うがいなどは引き続き励行されまして、お体には十分ご注意下さるよう、お祈り申し上げます。

7月25日

山口周三

エンカウンター読者の各位